様式第1号の1（第5条関係）

　　年　　月　　日

浜田市長　　　　様

浜田市結婚新生活支援事業補助金交付申請書

年度において、浜田市結婚新生活支援事業補助金の交付を受けたいので、浜田市結婚新生活支援事業補助金交付要綱第5条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 申請者

※本人が手書きしない場合は、記名押印してください。 | 氏名 | 夫）　　　　　　　　　　　 | 妻）　　　　　　　　　　　 |
| 住所 |  |
| 電話番号 |  |
| 2　生年月日 | 夫）　　　年　　　月　　　日 | 妻）　　　年　　　月　　　日 |
| 3　婚姻日 | 年　　　 月　 　　日 |
| 4　所得　※貸与型奨学金を返済した場合はその金額を控除した金額 | （夫）　　　　　 円（妻）　 　　　　円（合計）　 　　　　円 |
| 5　費用内訳 | 住居費（取得） | 契約締結年月日 | 年　　　月　　　日 |
| 契約金額（A） | 円 |
| 住居費（リフォーム） | 工事契約締結年月日 | 年　　　月　　　日 |
| 改修工事費用（B） | 　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 住居費（賃借） | 契約締結年月日 | 年　　　月　　　日 |
| 家賃 | 円（家賃　　　　月額　　　　　　　円　－住宅手当　　月額　　　　　　　円）×家賃　ヵ月（　　月～　　月支払分） |
| 敷金 | 円 |
| 礼金 | 　　　　　　　　　　　円 |
| 共益費 | 　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 仲介手数料 | 　　　　　　　　　　　円 |
| 小計（C） | 　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 引越費用 | 夫 | 引越しを行った日 | 年　　　月　　　日 |
| 費用 | 円 |
| 妻 | 引越しを行った日 | 年　　　月　　　日 |
| 費用 | 円 |
| 小計（D） | 円 |
| 合計（E）（A+B+C+D） | 円 |
| 6　補助申請額　※（E）の額、60万円（夫婦共に29歳以下の場合）又は30 万円のいずれか少ない額を記入※ 1,000 円未満の端数を切捨て | 円 |
|

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 同意及び確認※該当する項目にはレ点を記入※本人が手書きしない場合は、記名押印してください。 | 申請者（夫） | □　私は、この補助金申請の事務処理に必要な範囲において、市が私の戸籍（婚姻届を含む。）、住民票、所得及び浜田市が徴収する市税、生活保護受給状況について本市の関係各課に照会することに同意します。□　私は、引き続き5年間、市内へ居住します。□　私は、過去に結婚に係る給付を受けていません（他自治体からのものも含む）。□　私は、市税等の未納はありません。□　私は、反社会的勢力の構成員ではありません。 □　私は、勤務先からの住宅手当を控除して申請しております。□　私は、生活保護による住宅扶助その他公的制度による家賃補助を受けていません。氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（旧姓　　　　　） |
| 申請者（妻） | □　私は、この補助金申請の事務処理に必要な範囲において、市が私の戸籍（婚姻届を含む。）、住民票、所得及び浜田市が徴収する市税、生活保護受給状況について本市の関係各課に照会することに同意します。□　私は、引き続き5年間、市内へ居住します。□　私は、過去に結婚に係る給付を受けていません（他自治体からのものも含む）。　□　私は、市税等の未納はありません。□　私は、反社会的勢力の構成員ではありません。□　私は、勤務先からの住宅手当を控除して申請しております。□　私は、生活保護による住宅扶助その他公的制度による家賃補助を受けていません。氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　（旧姓　　　　　）　　　　　　 |
| 添付書類 | □　婚姻届受理証明書又は婚姻後の戸籍謄本等の写し□　算定年の夫婦の双方の所得証明書□　貸与型奨学金の返済をしている場合　奨学金返還証明書又は返済額がわかる書類の写し□　住宅取得費用支援事業を利用する場合　物件を取得したことが分かるものの写し□　リフォーム費用支援事業を利用する場合　工事請負契約書又は請書の写し□　住宅賃借費用支援事業を利用する場合　物件の賃貸借契約書の写し□　住宅賃借費用支援事業を利用する場合　住宅手当支給証明書（様式第2号）又は給与明細□　住宅賃借費用支援事業を利用する場合で無職である場合　無職であることが確認できるものの写し□　引越費用支援事業を利用する場合　引越しに係る領収書の写し□　その他、市長が必要と認める書類 |
|  |

 |